

夕陽會報



初夏 トラピストへの道

第216号



◇ 巻頭言 ◇

「出会い」と「人生の借り」

夕陽會會長 橋田恭一

(昭和39年卒)

「箱館への赴任命令が下った時、幸四郎は顔色を失った。この自分にあのくそ寒い蝦夷に行けと？ 蝦夷赴任には左遷の匂いがつきまとう。有能でも幕閣と衝突したり、不始末をしかして、飛ばされる場合が多いのだ。幸四郎を待ち受ける奉行小出大和守は、二十九の若さで箱館奉行に抜擢された傑物として知られる。」（「箱館奉行所始末」〜異人館の犯罪より〜）

「箱館奉行所」の書名に惹かれ手に取る数ページめくるや忽ち物語に没入してしまつた。百五十年前の函館の街並みが生き生きと蘇り、奉行所の侍と外国人領事とのやり取りがリアルに表現されている。主人公倉幸四郎は架空の人物。奉行小出大和守秀実も実在の人物である。何の苦勞もなく江戸で育つた旗本出身の青年武士が有能な上司に鍛えられて成長していく様子が臨場感をもって読者に迫ってくる。

作者は函館で小・中・高等学校を過ごした女流時代小説家森真沙子さん。数年前、久しぶりに函館を訪れ、再建なつた箱館奉行所を見学して、創作意欲を刺激されたようである。当時の膨大な史料を集め、読み込み、三部作を書き上げたエネルギー、意欲に圧倒された。

人は日々様々な出会いを経験している。もの、自然など、出会いは人生を豊かに生きる勇気を与えてくれる。苦しみも悲しみも喜びも、喜怒哀楽すべてが出会いの中からもたらされる。

ふと、五十年前の自分が蘇つてきた。大学を卒業して勤めた職場。人を育てたことの大切さと難しさを大学で学んだつもりであつたが、子供たちの前では無力であつた。

それを救つてくださったのが先輩・同僚の厳しくも温かな関わりであつた。その後、上司からは得難いチャンスを経験するたびにプロとしての自覚と自信が深まった。後に自分が指導的な立場に立つた時、意識したのは先輩諸氏からいただいた教えを後輩に託すことであつた。ある人はこれを「恩送り」とか、「人生で受けた借りを後輩に返す」とことと論じてくださった。「恩送り」や「人生の借りを返す」ことは、よき伝統・文化を次世代に伝承する営みである。この伝える行為は送り手と受け手の信頼関係によつて関係性はより強まる。その際、押しつけとならない配慮も必要であろう。同時に受け手にも謙虚に学ぶ姿勢が求められる。こうした出会いによる関わりは夕陽會でも同様である。これまで会長として多くの方々と交流させていただいた。立場上、会の冒頭に挨拶をする機会も多い。

言葉の使い方についての助言や活動の在り方について貴重な提言をいただくこともあつた。私にとっては、それらすべてが活動のエネルギーになつている。今後とも出会いは続く。それは人に限らず自然を対象とすることも多い。読書についても、これまでは社会や政治評論を主に読んできたが、前述のように予期せぬ時代物に遭遇することもあり、これかも楽しみである。

会員の皆様も様々な出会いを楽しませていらつしやることでしょう。その中にごひ夕陽會活動を加えてください。各支部をはじめ本部総会・懇親会にもご参加ください。そのことが、結果として恩送りや人生の借りを返すことになるかもしれません。

顧問・参与会

(平成二十七年六月十二日(金) 函館国際ホテル「青柳の間」において、第四回本部役員会に引き続き顧問・参与会が開催された。開会に先立ち、全員で「夕陽讃歌」を声高らかに斉唱し会が始まる。橋田会長の挨拶の後、議長に天野副会長が選出され議事が進行した。

報告・協議事項では、総会議案について審議され、永井幹事長代行ならびに林財政部長、森下監査より会務・決算・監査の各報告と、平成二十七年年度の運営方針・重点推進事項および予算案についての提案があり承認された。

続いて橋田会長より、函館校の動向について「国際地域学科となつて二年、今年も受験者は五倍を越え、一定の受験者数を確保した。また北海道の採用も四一%で高い登録率を示した。これもひとえに母校で就職対策のために尽力している同窓会員の努力の賜、心より感謝したい」と述べた。

総会・大懇親会

創立百周年まであと三年

平成27年度 夕陽会総会

(平成二十七年年度の夕陽会総会は、六月二十日(土)函館国際ホテルで開催された。

審議に先立つて挨拶に立つた橋田会長は「我夕陽会も今年で発足九十七年目を迎え三年後の創立百周年も間近となった。会長として七年が過ぎたがこの間を振り返ってみると教員養成機能を函館に残すことに奔走した日々であった。一方で組織強化にも取り組んできたが、先程の全国支部長会議でも各支部がそれぞれ工夫を重ね取り組んでいる様子が明らかになつた。会友制度も発足し、現在二名の会友がおられる。また昨年度は函館市役所の会員三十五名が集い会合を行った。今後は民間企業にも声を掛けていきたい。母校への支援については今後も就職支援を側面から支え、既卒者に対する支援も継続したい。地域貢献については函館支部が、市内各文化施設等への寄贈を行つてから六年が経つ。今年度も継続することになつていく。また、六月二十八日に行われる函館ハーフマラソン大会では、陸上競技場スタンドに夕陽会旗を掲げ、選手である夕陽会員を応援することになつていく。今後も躍動する夕陽会をアピールすべく様々な活動を行つていきたい。」と述べた。

大懇親会

於 函館国際ホテル



挨拶に立つ橋田会長

次に議長として千葉潤氏(空知支部)、矢野光男氏(特支支部)、西村榮基氏(網走連合支部)を選出し、役員選考委員・議事録署名人を確認した後、議事および別室での役員選考に入った。

報告事項では、永井幹事長代行より平成二十六年年度会務・事業報告が述べられ、続いて林財政部長からは、通常会費と基本金会計の会計報告が行われた。また菅原監査からはすべて適正に処理されている旨の監査報告があつた。

母校関係では、橋田会長から、新学部学生の教員志望者が百三十名に達していること、母校百周年事業へ夕陽会として百万円を拠出したこと、北海道の教員採用合格率が五分校で最も高かつたことなどが報告された。

議事事項では、はじめに永井幹事長代行より平成二十七年年度の運営方針並びに推進事項・事業計画が提案され、今年度から百周年記念事業にむけた準備委員会が発足すること、引き続き民間企業や地方公共団体の会員の中核となる人材の育成に重点をおくことなどが提案された。なお本年度の重点推進項目は次のとおりである。

- ① 組織強化と運営の効率化
 - * キャンパス再編・新学科に対応した教職外会員の入会促進
- * 夕陽会報二一六・二一七・二一八号の発行と電子的発行・配付の試行
- ② 人材の育成
 - * 民間企業・地方公共団体に勤める若手会員の中核となる人材の育成
- ③ 財政の効率的な運用と業務の見直し・効率化
 - * 夕陽会百周年に向けた準備委員会の発足と財政基盤の整備
- ④ 研究・研修、文化事業の奨励
 - * 各支部の研修活動等の支援
- ⑤ 母校への支援と地域への貢献
 - * 母校の教授対策関係事業、就職対策関係事業への支援
 - * 在校生(会員予定者)に対する同窓会意識の啓発と勧誘活動の実施

⑥ 夕陽記念館(北方教育資料館)の整備・活用

* 百周年記念事業に向けた諸資料の計画的収集・整理・アーカイブ化
また、林財政部長より平成二十七年年度の予算案が提案され、会員減少による会費の減少に対応して日常の全般的な経費削減にいつそう努めることが説明され、承認された。役員改選では次のように新役員が承認された。

- 会長 橋田 恭一(昭和三九年卒)
- 副会長 繪面 和子(昭和三九年卒)
- 副会長 網野 重治(昭和四〇年卒)
- 副会長 天野 哲征(昭和四一年卒)
- 副会長 青柳 史匡(昭和四二年卒)
- 副会長 伊藤 皓嗣(昭和四四年卒)
- 副会長 高橋 登(昭和五三年卒)
- 副会長 八木 裕(昭和五三年卒)
- 副会長 川野 真一(昭和五四年卒)
- 副会長 岡村 宏安(昭和五四年卒)
- 副会長 関 良一(昭和五五年卒)
- 監査 菅原 志郎(昭和三八年卒)
- 監査 近藤 健(昭和四一年卒)
- 監査 門脇 正和(昭和四二年卒)



新会員紹介

平成27年度 夕陽會總會

平成27年6月20日(土)



説明に立つ永井新幹事長

- 幹事長 永井 貴之(昭和六三年卒)
 - 副幹事長 齋藤 縁(昭和六〇年卒)
 - 副幹事長 平田新次郎(昭和六二年卒)
 - 副幹事長 白川 卓(平成 五年卒)
- (昭和59年卒 高丘小教頭 盛 健記)

あの日のあの時の 思い出に花咲かせ 大懇親會

函館校田中邦昭先生の母校の就職状況の説明やお礼のご挨拶、教育実習等での小中学校との連携等のお話の溢れんばかりの会員が集う中、いよいよ開会の時を迎えました。開会に先立ち、青柳史匡副会長の先導によりご来賓の方々が入場し、会場には大きな拍手が鳴り響きました。

齋藤縁副幹事長の進行のもと川野真一副会長による開会宣言で、本年度も大懇親會の宴が始まりました。まずは恒例の「夕陽讃歌」の斉唱です。本年度は函館市立桐花中学校の栗田芳樹先生(平成十年卒)が指揮を担当。参加者全員の母校に対する思いを込めた「夕陽讃歌」が会

場いっぱい声高らかに響きわたりました。

会長挨拶で、橋田恭一会長は、ご来賓を紹介した後「今年もまた全国各地より夕陽の仲間が集いこのように大懇親會ができることを大変嬉しく思う。九十七年という時間の経過の中、夕陽會は北海道の教育界を中心としながらも全国各地各界に優れた人材を輩出してきた。三年後の百周年には教職外の仲間も多く迎えながら盛大に祝いたいものである。今後は夕陽會自身も自己変革を繰り返し、母校の変化にも順応しつつ、同窓を大切にす精神を土台として、それぞれが自らの使命や生き方を見つめつつ歩んでいきたいと思う。」と語られました。

ご来賓挨拶では、函館市長工藤壽樹氏が、日頃から夕陽會会員が函館市の教育推進に尽力していることに謝意を述べられ、続いて「新幹線開業を発展の契機とし、雇用創出や子育て支援に取り組み函館市のために一層の支援をお願いしたい」と期待と抱負を述べられました。

またこの六月一日に着任した辻俊行北海道教育庁渡島教育局長からは、着任の報告とご挨拶に続いて「函館校は文部科学省より今回の学部改編を機に新しい時代にふさわしい教員養成大学としてのモデルケースとして期待されている。道教委も函館校と協定を結び、ともに手を携えて道南の教育発展に努めたいと考えている。今後皆さんの力をお借りしたい」とのお言葉がありました。

母校からは星野立子キャンパス長が、ご挨拶に立ち、昨年開催された函館校百周年記念事業への夕陽會の尽力に対して謝辞を述べられました。また本年度かつ函館校にお勤めだった二人の教官が函



工一ル

館校に戻られたことにもふれ、今函館校キャンパスにいる鷺のひな鳥を喩えに、「ひなを育てる鷺のように、私たちも力強い教官迎えたことを心強く思い、学生達を大切に育てていきたい」と決意を述べられました。

続いて、恒例の新入会員の紹介です。本年度も中田和子日新中学校教頭の進行により、十三名の教職等の新会員が紹介され、会場には大きな拍手と声援がわき起こりました。

次に、田中健一渡島管内町村教育委員会連絡協議会教育長部会会長の祝杯のご発声で祝宴が幕を開けました。

今年も会場内は各卒業年次ごとの席で、互いに若き日の記憶をよみがえらせ、旧交を温め合いながら、青春時代に戻ったように、語り合う姿が見られ、夕陽會大懇親會ならではの熱気に満ち溢れる雰囲気になりました。

また会の途中、六月二十八日行われる函館ハーフマラソンへ出場する夕陽會員を夕陽會旗のもとに応援しようという企画のPRが工藤勉厚生部長からありました。

宴もいよいよ佳境に入り、恒例の工一ルを今年には櫻川祥貴先生(平成二十三年卒)桐花中)と浦田佳祐先生(平成二十年卒 桐花中)の新コンビが熱演、今回も大いに会場を沸かせました。

閉會が近づくと、トリを飾る寮歌の大合唱が始まります。諸先輩方が背に「夕陽」の揃いの法被姿で登壇すると、会場の雰囲気はさらに盛り上がり、恒例の小林周次先生(昭和三十三年卒)の音頭で、母校に対する思いを込めた歌声が会場全体を揺らすように響き渡りました。

余韻が覚めやらぬ中、乾杯の時間となり、山本真也函館市教育委員会教育長が今後の夕陽會の発展を願って乾杯の音頭を取り、宴はお開きとなりました。最後に八木 裕副会長が閉會を宣言、天野哲征副会長の先導でご来賓の方々が退場され、本年度の夕陽會大懇親會も大盛會のうちには終了しました。

平成二十八年度は六月二十五日(土)に、同会場函館国際ホテルにおいて、夕陽會本部総会ならびに大懇親會を開催する予定です。来年もまた万障お繰り合わせの上多くの会員諸氏がごぞつて集い、同窓の輪をひろげようではありませんか。

(昭和60年卒 湯川小教頭 樫野人範記)



寮歌大合唱

平成二十七年年度

夕陽会運営方針並びに推進事項

《運営方針》

「創造し行動する夕陽会」をモットーに、会員一人一人に活力と潤いをもたらす運営の充実と活動の活性化を図り、次の各事項の深化拡充に努める。

《推進事項》

1 組織強化と運営の効率化

- 1 会員相互の連携を重視し、各界会員の組織化と会運営の効率化を図る。
- 2 各支部の活動の把握と広報活動の充実。
- 3 支部、ブロック、部会活動の活性化と本部との連携。
- 4 キャンパス再編・新学科に対応した教職外会員の入会促進。(重点事項)
- 5 女性会員及び若手会員の運営への積極的な参画。
- 6 夕陽会報216、217、218号の発行と電子的発行・配布の試行。(重点事項)

2 人材の育成

- 1 人材の発掘と会員の資質・地位の向上を図る。
- 2 会員である道・市町村議会議員、首長部局職員、教育行政・管理職等との連携。
- 3 関係機関・団体に所属する会員との連携。
- 4 指導主事及び教頭等の学校管理職候補者の発掘と育成。
- 5 民間企業、地方公共団体に勤める若手会員の中核となる人材の育成。(重点事項)

3 財政の効率的な運用と業務の見直し・効率化

- 1 「つなぎ」、「集う」視点から、諸事業の再構築と財政の効率的な運用に努める。
- 2 *夕陽会100周年に向けた準備委員会の発足と財政基盤の整備。(重点事項)

4 研究・研修、文化事業の奨励

- 1 会員による個人及び協働の研究等を奨励し、明日の夕陽を担う会員等の研究・研修意欲の高揚を図る。
- 2 研究・研修助成並びに研究内容の紹介。
- 3 各支部の研究活動等の支援。(重点事項)
- 4 「若手枠」の活用による夕陽会の明日を担う若手の育成。
- 5 会員による文化事業の奨励。
- 6 母校への支援と地域への貢献

5 母校への支援と地域への貢献

- 1 母校の継続と発展を願い、新学科の支援を行う。
- 2 *母校の教授対策関係事業、就職対策関係事業への支援。(重点事項)
- 3 在学生(会員予定者)に対する同窓会意識の啓発と勧誘活動の実施。(重点事項)
- 4 大学の地域連携・社会貢献への協力・支援。
- 5 学生のスポーツ・文化・芸術活動への支援。

6 夕陽記念館(北方教育資料館)の整備・活用

- 1 改修された夕陽記念館への、各種記念資料等の収集と適切な保存、展示、活用に努める。
- 2 会員の作品、記念資料等の収集と会報やWebページでの周知。
- 3 夕陽記念館内外の環境整備、陳列品の整備。
- 4 夕陽記念館の教育活用、学生・地域住民への開放などの検討。
- 5 100周年記念事業に向けた諸資料の計画的収集・整理・アーカイブ化。(重点事項)

夕陽会本部 事務局業務分担

庶務部

- 白川 川川 卓(附属中副校長)
- 平田 新次郎(附属特支副校長)
- 1 諸会議(含懇親会)の諸準備及び進行、記録
- 2 文書の收受、発送及び保管
- 3 会員の慶弔事務
- 4 その他、庶務に関すること

財政部

- 林 敏雄(七飯中長)
- 1 通常会費の徴収、支出事務
- 2 基本金及び特別会計の徴収、支出事務
- 3 予算書、決算書の作成
- 4 前納会員に関する事務
- 5 その他、財政に関すること

組織部

- 齊藤 藤藤 縁(附属幼副園長)
- 1 支部組織の編成と組織強化対策
- 2 会員の動態調査(支部別、校種別会員名簿)
- 3 支部役員名簿等の作成、会員名簿の作成にかかわる資料の収集
- 4 その他、組織全般に関すること

情宣部

- 古川 邦彦(高丘小長)
- 1 「夕陽会報」の発行
- 2 事務局報の発行
- 3 その他、情宣に関すること

web委員長
佐々木正幸(磨光小長)

文化部

- 夕陽会ホームページの作成とその管理
- 新濱美喜子(千代ヶ岱小長)
- 1 会員の文化活動に対する支援
- 2 文化事業(音楽会・美術展・書道展等)の企画、実施
- 3 その他、文化に関すること

研修部

- 鳴海 康司(光成中長)
- 1 会員の地位向上対策
- 2 会員の個人及び共同研究への助成
- 3 支部・ブロックにおける研修活動に対する支援
- 4 その他、研修に関すること

厚生部

- 工藤 勉(大川中長)
- 1 会員の親睦及び福利、厚生事業の企画、実施
- 2 記念資料及び会員の作品収集
- 3 夕陽記念館の整備、充実
- 4 その他、厚生に関すること

平成二十七年夕陽會本部役員名簿

会長

副会長

函館市日吉町1-22 23

函館市榎本町6-17 20

函館市栴檀4-5 6

函館市川原町18-10 10

札幌市北区太平5-5 7

函館市八幡町2-7 7

函館市立の場中学校校長

函館市立昭和小学校校長

七飯町立大中山中学校校長

上ノ国町立上ノ国小学校校長

北海道長沼高等学校校長

北海道教育大学附属函館小学校校長

北海道教育大学附属函館中学校校長

北海道教育大学附属特別支援学校校長

函館市栴檀町2-17 17

函館市北原2-13 13

北斗市久根別2-17 21

函館市美原5-31 18

函館市山の手3-4 2

函館市山の手3-33 28

函館市石川町325 1

函館市乃木町3-18 18

函館市立桐花中学校校長

函館市立立福島小学校校長

函館市立立福島中学校校長

函館市立立福島中学校校長

函館市立立福島中学校校長

函館市立立福島中学校校長

函館市立立福島中学校校長

函館市立立福島中学校校長

参事

与

函館市の場町24-15 15

函館市東山2-藤 8

札幌市豊平区西岡4-5 8

国分寺市多田2-5 5

函館市本町20-13 13

函館市川原町13 13

函館市銭亀町25-39 39

函館市東区北25 20

函館市大川町31-5 5

函館市大川町4-富 43

函館市栴檀町4-8 8

函館市山の手2-36 36

函館市栴檀町5-21 21

函館市大島1-28 28

函館市小松町42-15 15

札幌市手稲区山手1-6 6

森町教育委員会指導参与

函館市湯川町2-吉 7

江別市大森町26-18 18

函館市常盤1-20 20

函館市青柳町21-10 10

函館市花園町5-10 10

函館市深堀町2-8 8

函館市西旭岡町2-11 11

函館市厚別区大谷地5-15 15

函館市赤川町57 57

函館市湯川町2-征 13

函館市西尾島町2-3 3

函館市松陰町25-36 36

函館市山内洋三(昭和35年卒)

函館市富岡町1-10 14

函館市川原町4-24 24

函館市美原2-26 9

北斗市本町13-34 34

札幌市厚別区厚別東2条4-10 3

七飯町中野48-7 7

函館市山手1-11 11

函館市山手1-2 2

函館市山手1-18 18

函館市山手1-3 3

函館市山手1-8 8

函館市山手1-13 13

函館市山手1-18 18

函館市山手1-23 23

函館市山手1-28 28

函館市山手1-33 33

函館市山手1-38 38

函館市山手1-43 43

函館市山手1-48 48

函館市山手1-53 53

函館市山手1-58 58

函館市山手1-63 63

函館市山手1-68 68

函館市山手1-73 73

函館市山手1-78 78

函館市山手1-83 83

函館市山手1-88 88

函館市山手1-93 93

函館市山手1-98 98

函館市山手1-103 103

函館市赤川1-16 25

北斗市山手1-39 39

函館市山手1-44 44

札幌市中央区北4条西21-4 702

函館市山手1-5 5

函館市山手1-10 10

函館市山手1-15 15

函館市山手1-20 20

函館市山手1-25 25

函館市山手1-30 30

函館市山手1-35 35

函館市山手1-40 40

函館市山手1-45 45

函館市山手1-50 50

函館市山手1-55 55

函館市山手1-60 60

函館市山手1-65 65

函館市山手1-70 70

函館市山手1-75 75

函館市山手1-80 80

函館市山手1-85 85

函館市山手1-90 90

函館市山手1-95 95

函館市山手1-100 100

函館市山手1-105 105

函館市山手1-110 110

函館市山手1-115 115

函館市山手1-120 120

函館市山手1-125 125

函館市山手1-130 130

平成二十七年支那役員名簿

Table of branch members for various regions including (札幌市), (小樽市), (旭川市), (釧路市), (帯広市), (日高市), (空知), (函館市), (渡島), (檜山), (根室), (釧路), (帯広), (日高), (空知), (函館), (渡島), (檜山).

Table of branch members for various regions including (根室), (釧路), (帯広), (日高), (空知), (函館), (渡島), (檜山), (網走), (青森), (青森), (青森), (特別支援学校), (高等学校).

Table of branch members for various regions including (青森), (青森), (青森), (特別支援学校), (高等学校), (網走), (青森), (青森), (青森), (特別支援学校), (高等学校).

就任ご挨拶



就任にあたって

副会長 八木 裕
(昭和53年卒 函館市立昭和小学校長)

この度、函館市小学校長会長就任に伴い、夕陽会副会長という大役を仰せつかりました。橋田会長をはじめ、役員の皆様のご指導を賜りながら、夕陽会の充実・発展のために精一杯努めますので、どうぞよろしく願います。

私は、昭和五十三年三月に母校を卒業し、森町立森小学校に採用されました。児童数も千二百人近くもいた学校で、教職員数も多く、夕陽会の先輩方もたくさんおりました。しかし当時は、同窓の意味、ありがたみといったものを特に強く感じたことはありませんでした。しかし、今になって振り返ると、新任の私を勤務の中でもちろんのこと、勤

就任にあたって

副会長 川野真一
(昭和54年卒 七飯町立大中山中学校長)

この度、渡島小中学校長会長就任に伴い、夕陽会副会長という大役を仰せつかりました。橋田会長をはじめ、役員の皆様のご指導を賜りながら、夕陽会の充実・発展のために精一杯努めますが、精一杯努力したいと考えております。

私は、昭和五十四年三月に母校を卒業し、砂原町立砂原中学校に採用されました。檜山管内出身の私にとっては幸運なこと、その後の一般教諭時代を実家に近い七飯町、森町、大野町で勤務させてもらいました。しかし、当時は夕陽会出身の仲間がほとんどで、失礼ながら夕陽会の恩恵等を実感する機会は多くなかったと記憶しています。

務終了後も親不孝通りに連れ出して、温かく指導してくれたのは、夕陽会の良き先輩でした。自分の教員としての土台がそこで築かれたといっても過言ではありません。その後、函館に勤務することになりました。特に、平成十年から、市教委にお世話になり、教育行政に携わらせていただいた時、上司の方々、その当時の夕陽会の校長先生や教頭先生方をはじめ、多くの方々にお世話になり、同窓の絆を強く感じた次第です。この度の就任を機に、少しでもお役にたてるように頑張りたいと思います。

平成十二年、有珠山噴火で道路網が寸断されるなか、日高管内平取町へ教頭として赴任しました。日高には知人や親戚もなく、加えて渡島とは異なる教育事情や環境での生活は公私共に心細い限りでした。五月に開催された日高支部歓迎会での校長・教頭、教育局幹部職員からの助言・激励や、支部総会での夕陽会本部幹事長様からのお言葉に励まされ、日高での教頭職を全うすることができました。これまで、管理職の道を歩んで来られたのも夕陽会のお陰と感謝しております。この度の就任を機に、少しでも夕陽への恩返しが出来ればと考えております。よろしく願います。



夕陽が丘の熱血に

副会長 関 良一
(昭和55年卒 北海道長沼高等学校長)

この度、前夕陽会高等学校部会長(支部長)、佐藤久道先生のご勇退に伴い、夕陽会副会長という大役を仰せつかり、その職責の重さを痛感しておるところでございます。

私は函教大を卒業後、函館有斗高校に半年程お世話になりました。それが縁で高等学校畑採用になりました。厚岸潮見高校、石狩高校、札幌西高校、中川商業高校、長万部高校、江別高校、清水水高校その後、現在の長沼高校に赴任いたしました。かれこれ三十四年余り、勤務のさきざきにおいて夕陽会の多くの方々の叱咤激励を頂き今日に至っております。



就任にあたって

監査門脇 正和
(昭和40年卒)

この度の総会において、監査という大役を仰せつかりました。百周年を三年後に見据え、歴史と伝統のある夕陽会の充実と発展に向け、力を尽くしてまいりたいと思っております。

さて、最近の出来事を紹介します。退職後のある時、私が退職する前の学校にきていた教育大学函館校の教育実習生に急に会いました。当然就職に就いているものと思っていたら、ある金融団体に就職したとのことでした。また、私が退職後勤務した民間の会社にも教育大学函館校の二名の卒業生が社員として勤務してました。このことは、私にとって教職を進路として考える学生が少なくなつた

函教大在学中は当たり前のように桐花寮にお世話になりました。「巴湾の水の精を汲み」から始まる桐花寮寮歌をこよなく愛唱させて頂きました。また、主たるアルバイト先である「函館国際ホテル」「函館山ロープウエー」には大変お世話になりました。数年前にこれら全てを巡る機会がございました折には、天にも昇るときめきを感じた次第でございます。この度の就任を機に、少しでもお役に立てるよう頑張つて参りたいと思っております。皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ことを直接的に感じるこゝなつた出来事でした。そこで感じたことは、この人たちへの働きかけをどうしたらいいのか。どうなっているのか。ということでした。大学の再編により、「国際地域学科」として「地域教育専攻」と「地域協働専攻」ができ、今後の函館校は、地域の知の拠点としての人材の輩出とリカレント教育の役割を担うと言われております。その中で、教職はもとより教職以外の卒業生への働きかけが現実の課題として捉えることが大事であると考えます。百周年を機に当夕陽会が益々発展するよう努力したいと考えております。今後とも宜しくお願い致します。



幹事長 永井井貴井之 (昭和63年卒) 北海道教育大学附属函館小学校副校長

幹事長就任にあたって

この度の総会において、幹事長を仰せつかることになりました。昨年度から、初めて本部の業務に携わつて参りましたが、全道・全国のネットワークの中で母校や同窓を大切に思う会員の皆様の願いを受け止めながら推進される夕陽会本部の業務の重要さを改めて学んできたところであります。そうした中で、要職を担うことは大変な重圧であり、自分に務めることができるのかという不安も大きいのですが、一步一步の積み重ねで会務を推進することができるようにと自分を奮い立たせているところでございます。この春から、代行という立場で総会議

案書の作成や本部役員会・事務局会議の運営・準備など、業務を引き継いできたところですが、要領を得なかつたり時間を要したりしており、歴代幹事長の諸先輩の御労苦を実感しております。一方で、各支部・支会の総会・懇親会にお邪魔をした際には、思いがけない再会や新たな出会いに恵まれましたので、そうしたことを励みに精進して参りたいと考えております。会員の皆様、諸先輩の皆様には、不慣れで未熟なため、ご迷惑をおかけすることも多いとは思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



副幹事長 白川川川卓 (平成5年卒) 北海道教育大学附属函館中学校副校長

就任にあたって

この度の総会において、副幹事長(庶務部長)を仰せつかりました。微力ではありますが、職責を果たすことができました。よう精一杯努めてまいれる所存でございます。

北海道教育大学附属函館中学校副校長) いただきました。その際は、初任地でした。遠い函館や母校への熱き思いや強い仲間意識、そしてそれぞれの地における教育への真摯な姿勢と情熱に、再び触れることができました。この人と人とのあたたかさ、教育への熱い思いこそまさに夕陽であると感じて実感させていただきました。

私は、平成五年三月に卒業し、四月より空知管内赤平市立平岸中学校に採用されました。生まれ育った函館を離れ、教師として右も左もわからぬスタートでありましたが、赤平や芦別等を含めた中空知の夕陽の先輩方に、あたたかく迎えていただくとともに、多くの御指導、御助言をいただきましたことは忘れられません。誠にありがとうございます。

この春、代行という立場で北海道内数カ所の支部の総会等にお邪魔させて

幹事長 永井井貴井之 (昭和63年卒)

会務報告

9/20	《二般会務・函館校関連の動き》 5分枝会長会議が開催され、橋田会長、奥崎幹事長が出席する。(石見沢)	9/27	指導主事等会の勉強会が開催され、橋田会長、永井副幹事長が出席する。(東京)	10/4	道北ブロック会議が開催され、奥崎幹事長が出席する。(留萌)	10/18	道央ブロック会議が開催され、橋田会長、奥崎幹事長、永井副幹事長が出席する。(石見沢)	11/14	函館市役所の北教大卒の懇親会が開かれ橋田会長が出席する。(函館)	11/22	六稜会渡島同窓会に橋田会長が出席する。(函館)	12/6	道東ブロック会議が開催され、奥崎幹事長が出席する。(帯広)	12/16	5分枝会長・道教委立川教育長との懇談会に橋田会長が出席する。(札幌)	1/30	道教育功績者表彰祝賀会に橋田会長、青柳副会長、奥崎幹事長が出席する。(札幌)	2/4	第2回本部役員会が開催される。(函館)	2/23	1 函館校卒業式に橋田会長、川島顧問が出席する。(函館)	3/17	北海道教育大学合同入学式に橋田会長が出席する。(札幌)	4/2	指導主事等会総会が開催され橋田会長、古旗参与、永井副幹事長が出席する。(札幌)	4/26									
4/27	道教委立川教育長と橋田会長が懇談する。(札幌)	5/22	工藤函館市長と橋田会長が懇談する。(函館)	6/5	第3回本部役員会が開催される。(函館)	6/12	第4回本部役員会、顧問・参与会が行われる。(函館)	6/18	渡島教育局辻局長と橋田会長が懇談する。(函館)	6/20	平成27年度全国支部長会議・本部総会・懇親会を開催する。(函館)	6/24	寺島乙部町長と橋田会長が懇談する。(乙部)	6月	《支部総会・懇親会・同期会・個展等》 北斗支会総会、首都圏支部総会、七飯支会総会、森支会総会、福島支会総会、30年同期会、32年同期会(七夕会)	7月	39年同期会、木古内支会総会、海峡クラブ懇親会、鶴陵会渡島支部総会	8月	高校支部総会	9月	46年同期会、体育研究室同窓会	10月	北師同窓会渡島支部総会、六稜会渡島同窓会	11月	室蘭支部総会、札幌支部大忘年会	12月	特別支援学校支部総会、青森西北五支部総会、胆振連合支部、網走連合支部総会、後志支部勇退感謝の会	2月	苫小牧支部勇退者激励会、渡島支部勇退者激励感謝の会、檜山支部総会・先輩を送る会	4月	函館市支部総会、空知支部総会、札幌市支部総会、釧路支部総会、八雲支会総会	5月	帯広十勝支部総会、渡島支部総会、上川支部総会、石狩支部総会、檜山支部総会、小樽市支部総会、函館市支部幹事会・新会員歓迎会、後志支部総会、鹿部支会、知内支会、33年同期会(33支会)	6月	北斗支会総会、松前支会総会、木古内支会総会

受賞(章)おめでとーございます

*瑞宝双光章(高齢者叙勲3/1)

大坂 昭雄 氏(昭22年卒)

函館市川原町一三の二

*瑞宝双光章(春の叙勲)

五十嵐日出男 氏(昭23年卒)

札幌市清田区清田八の三の一〇

*瑞宝双光章(高齢者叙勲3/1)

米津 正芳 氏(昭25年卒)

函館市赤川町五四二の八

*瑞宝双光章(春の叙勲)

沖 正 氏(昭29年卒)

釧路市文苑一の二一の一

*瑞宝双光章(高齢者叙勲4/1)

下山幸一郎 氏(昭22年卒)

函館市上湯川町一六の二二

*瑞宝双光章(春の叙勲)

友善 寛 氏(昭28年卒)

函館市北美原三の一三の一

*瑞宝双光章(高齢者叙勲4/1)

佐藤(三十尾)正男 氏(昭23年卒)

森町字新川町二二

*瑞宝双光章(高齢者叙勲6/1)

飯田 豊昭 氏(昭28年卒)

北斗市中央三の四の一三

*瑞宝双光章(高齢者叙勲5/1)

丸山 晴一 氏(昭28年卒)

函館市的場町二の三

*瑞宝双光章(高齢者叙勲6/1)

花田寅太郎 氏(昭25年卒)

北斗市追分四の七の三一

*藍綬褒章(春の褒章)

金子(笠井)佳子 氏(昭45年卒)

七飯町緑町一六の一九

*瑞宝小綬章(春の叙勲)

澁谷 道夫 氏(昭34年卒)

函館市榎本町二の三



智恵を絞り奮闘する各支部

全国支部長会議を開催

「智恵」を共有し新たな一歩を

平成二十七年年度の全国支部長会議は函館国際ホテル春陽の間で六月二十日(土)午後一時三十分より開催された。

若手会員等勧誘の

特徴的な取組

札幌市/若手会員研修会の実施

(新卒三〜五年まで・異業種も含む)

R35の会

(中堅教員の悩みを聴く会)

石狩/「若手ふれあいトーク」

(若手の悩み交流・懇親会)

後志/「若手研修会」

(形にとらわれない多様な実技研修)

スキー研修・ポウリング大会等

留萌/若手・中堅に焦点を

当てた研修会

小小(本部の協力を得て教育行政担当者

を講師として招聘)

青森西北五/初参加者の負担軽減

(教職外からの参加者も出てきた)

岩手/若手を講師にした研修会の開催

(若い参加者が増えた)

後半の各支部からの報告・交流では、永井幹事長代行の司会で「つながる」「集う」を視点にした各支部の活動状況等の交流が行われ、参加した全支部が、各支部の現状と抱える課題について発言した。特に若手会員や教職外会員の勧誘について様々な取組が述べられた。

教職外会員の勧誘については、情報を集めるのに苦労しているという声が多く、いかに会員の情報を収集、交流していくかが課題となった。



「未来の教師 夕陽フォーラム」
後輩への熱いアドバイス

組織部長(副幹事長) 齋藤 藤藤 縁
(昭和60年卒)

去る五月二十九日、函館校四号館特別教室において、未来の教師 夕陽フォーラムを開催しました。これは組織部が企画・運営を行います。函館校キャリアアセンター竹鼻洋文先生の全面的な御協力をいただいているもので、今年で十年目となります。

今年も附属学校の副校長と教員が教員採用試験を控えた現役学生に直接アドバイスをいたしました。小学校部会は附属小学校の若竹淳一教諭が、中学校部会は附属中学校森茂之教諭が、特別別科部会は附属中学校の林潤子養護教諭が担当し、模擬授業や場面指導の実際を解説つきで実演してくださいました。

現場教員のノウハウが懇切丁寧に教授されると、学生たちはとても真剣な眼差しになりました。参加した約四十名の学生からは「現場の先生方の授業は学ぶことが多い」「受験対策書に載っていない実践を学ぶことができた」「先輩達に励まされていた嬉しかった」などと、御礼の声が多数聞かれました。

函館校の松浦俊彦先生はその様子を大学のホームページで「こうした充実したキャリア教育を実施している函館校は、教員採用試験の現役合格率が北海道教育大学五キャンパスの中でもっとも高い実績をもっている」と紹介してくださいました。このように大学側からも夕陽フォーラムの実績を評価してくださいました。

さらに、特別支援学校部会では後日特別支援学校において個別指導をしてくださるなど、このフォーラムは、教員を志望する現役学生にとつて、教育現場の生の声と先輩ならではの貴重なアドバイスを聞ける絶好の機会となっております。

組織部では、来年度以降もこの取り組みを継続し、現役学生への支援を続けていこうと考えています。

なお、既卒者への支援については、今年も「明日の教師養成塾」と題して、教採二次試験対策講座を、七月二十五日十時から函館校四号館特別教室において開催いたします。各支部を通じてご案内をしていますが、組織部長(附属幼稚園副園長 齊藤 縁)へ直接お問い合わせしていただいております。

教職を志す学生が、一人でも多く夢を実現してほしいと願っています。夕陽会組織部は、そんな後輩達をこれからも熱く応援していきます。



ご就任・ご当選おめでとうございます

＊奥州市教育委員会

教育長就任 (H27・3・30)

田面木茂樹 氏 (昭48年卒)

＊函館市議会議員当選

小山 直子 氏 (昭54年卒)

松宮 健治 氏 (昭55年卒)

＊新ひだか町教育委員会

教育長就任 (H27・4・1)

高野 卓也 氏 (昭53年卒)

＊今金町教育委員会

教育長就任 (H27・7・1)

田中 俊一 氏 (昭45年卒)

＊北海道議会議員当選

平出 陽子 氏 (昭46年卒)



夕陽「明日の教師養成塾」のご案内

- 日時 平成27年7月25日(土)
 - 会場 北海道教育大学函館校4号棟特別教室
(函館市八幡町1-2 TEL0138-44-4411)
 - 対象 教職を目指す北海道教育大学函館校過年度卒業生など
参加料は無料
 - 日程 7月25日(土) 10時~17時
 - 内容 模擬授業の実際 集団面接指導
個人面接指導
- ※自己推薦書コピーを必ず持参のこと
- 申し込み 7月16日(木)までに
夕陽会 組織部までFAXにて申し込みのこと

電話0138-46-2237 FAX0138-47-8731
附属函館幼稚園内 夕陽会組織部 齋藤 縁

第10回 「夕陽書道展」のご案内

主 催 北海道教育大学夕陽会(書道展実行委員会)

展 示 期 間 平成27年11月5日(木)～11月9日(月)

展 示 会 場 ハーモニー五稜郭 芸術ホール
(函館市五稜郭町37-8)

出 品 者 夕陽会員および現旧母校教官

作 品 規 格 装丁 額表装 軸表装に限ります。仮巻きは認めません。
部門 特に定めません。創作・臨書・漢字、かな、近代詩文
篆書、墨像など自由。

寸法 ①縦・横 共に180cm以内
②60cm×240cm以内(縦のみ)



作 品 搬 出 入 搬入 平成27年11月4日(水) 午後5時
搬出 平成27年11月9日(月) 午後5時

費 用 出品料はかかりません。

出 品 申 込 官制はがき等に必要事項を記入し、8月14日(金)まで
事務局必着にてお願いします。

オープニング 11月5日(木)午前10時よりオープニングセレモニーを
会場入口で行います。

お問い合わせ、ご相談等は

実行委員会事務局 函館市立亀田中学校内

葛西 広治(青 龍)まで お願いいたします。

(函館市美原3丁目30番3号 TEL0138-56-3005)

たくさんのご出品とご鑑賞をお願い申し上げます。

前納会費納入会員名簿追加分

小林 博 函館 昭52 大井川 学 札幌 昭52
 村瀬 雄三 伊達 昭53 堀川 美名子 函館 昭54
 南部 務 室蘭 昭52 小川原 隆男 函館 昭52
 小玉 章 紀 苦小牧 昭48 (平成二十七年六月二十日現在)

夕陽会員訃報

熊谷 康正 氏 昭26 25・2・28 恭氏 瀬川 幹夫 氏 昭31 27・3・31
 函館市弥生町19の19 函館市花園町5の17 久子氏
 矢野 俊雄 氏 昭20 25・5・25 小刀禰幸一 氏 昭36 27・4・21
 菊地 地諒 氏 昭30 2・地・23 函館市松川町39の8 昭子氏
 函館市神山3の52の11 小笠原靖子氏 森町森川町211の3 恵美子氏 27・5・4
 堀濱 吉真 氏 昭33 27・1・16 敬子氏 戴下(本庄)睦子 氏 昭24 27・5・4
 函館市山の手2の8の8 敬子氏 札幌市手稲区富丘5の5の6の5 弘氏
 佐々木志朗 氏 昭32 27・3・1 教子氏 山柿 三夫 氏 昭29 27・5・6
 伊達市末永町125の10 教子氏 北斗市押上2の3の10 幸子氏
 高梨 茂氏 昭20 27・3・1 関谷育子氏 石見 純一 氏 昭40 27・5・28
 網走市向陽ヶ丘2の17の7 関谷育子氏 函館市八幡町21の10 玲子氏
 亀松 光美 氏 昭23 27・3・11 イサ氏 清水 隆 氏 昭35 27・6・3
 函館市大手町6の1の201 イサ氏 函館市柏木町9の18 勝子氏
 熊谷 英昭 氏 昭31 27・3・14 英子氏 里館 良平 氏 昭30 27・6・16
 札幌市手稲区前田5の8の1の1の516 英子氏 函館市五稜郭町30の5の502 なほみ氏
 山本 重也 氏 昭24 27・3・26 愛子氏 (平成二十七年六月二十日現在)
 七飯町大中山7の607の8 愛子氏
 笹木 照雄 氏 昭28 27・3・20 泉氏
 函館市深堀町7の8の109 泉氏



ご冥福をお祈りいたします

岩 船 寛 氏

本会の会友であり、函館校の教員養成機能存続のために多大なご尽力とご貢献をいただきました岩 船 寛氏
がご逝去されました。

これまでの本会へのご支援に対し心から感謝しここに哀悼の意を表します。



母校百周年記念式典で表彰を受ける岩船氏

お詫びと訂正

夕陽会報 第215号 巻頭言 坂東忠康氏の文章中、下段の「養老孟子」とあるのは「養老孟司」の誤りでした。執筆者をはじめ皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びし訂正いたします。

編集後記

◆会報第二一六号をお届けいたします。今回も、皆様から多くの玉稿や貴重な写真等をお寄せいただきました。この場を借りて心よりお礼申し上げます。

◆今号の巻頭写真は北斗市当別のトラピスト修道院へ続く初夏の道です。左右を杉木立に囲まれ緑豊かに続く道は一年で最も爽やかな季節を迎えていました。

◆創立九十七年目を迎えた夕陽会の大懇親会は今年も盛会のうちに終了しました。母校の北海道教員採用率や就職率も良好であることは喜ばしいことです。就職対策に奔走されている母校の夕陽会員の諸先生に改めて敬意を表します。

◆百周年を前に様々な記事への情報をお寄せいただいています。次号以降順次、紹介してまいります。今後も百周年にちなんだ各種情報・資料の提供をお願いいたします。

(情宣部長 古川 邦彦 記 昭56卒)

本部事務局へのご連絡などは、次の所へ
お問い合わせいたします。

041 0806 函館市美原3丁目48番6号

北海道教育大学附属函館小学校内

夕陽会本部事務局

電話番号(011338) 46-22235

夕陽会専用(011338) 34-55220

FAX番号(011338) 47-73776

題字 文化勲章受章者 金子賢蔵(鷗亭)氏(昭4卒)